

生きているって すばらしい

小学校 6 年生

I アクティビティについて

ねらい

生まれた頃の自分を見つめさせる活動を通して、自らの生命を大切にし、他者の生命をも尊重する態度を育成するとともに、生命のあるものはすべて互いに支え合って生きているという認識をはぐくむ。

◆◆◆視点◆◆◆

- ◎生命尊重
- 多様性の尊重・共生
- 自己尊重の感情

設定の理由

この発達段階の児童には、「死ぬ」、「殺す」などのような生命を軽んじる言葉を安易に口にする傾向がみられ、そのような「言ってはいけない言葉」がきっかけでトラブルが生じることも少なくない。

そこで、生まれてから現在までの自己の成長の様子を絵や言葉で表現する活動、写真や文章から想像できることを話し合う活動などをとおして、「生きているとはどういうことか」、「自分の命はどこからきたのか」を考えさせ、生命がかけがえのないものであることに気づき、自分や他者の生命を尊重しようとする態度を育てたい。

アクティビティの概要 (3時間扱い)

活動1 人権パネルシアターを行う。 1時間

- ・キーワードから連想する絵を描いてパネルに貼る。



活動2 写真を読む 1時間

- ・2枚の写真から受ける感じや読み取れることを話し合う。



活動3 資料を読んで、話し合う。 1時間

- ・資料を読んで、生命のつながりや生命の大切さについて話し合う。
- ・保護者からの手紙を読み、自他の生命の大切さを考える。

アクティビティーの実際

□ 準備するもの

パネル（段ボールと布）・板目表紙・マジック・クレヨン・セロテープ
写真（銃を持つ子ども・絶滅の危機に瀕する動物）・模造紙

□ アクティビティーの実際

活動1 人権パネルシアター

- ① 「生命」「成長」「誕生日」「赤ちゃん」等のキーワードを与える。
- ② これらのキーワードの中から1つを取り上げ、その語から連想されることばを画用紙に書かせる。

例：「赤ちゃん」・・・小さい・・・かわいい・・・お母さん・・・泣く・・・のように画用紙に言葉を書かせる。

- ③ そのとき（例：赤ちゃん）関連するイラストも描かせる。
- ④ 5人程度のグループをつくる。
- ⑤ みんなが考えたものを集め、板目表紙に絵を描き、切り抜く。
- ⑥ 用意しておいたパネル（段ボールでもよい）に切り抜きや絵を貼り付けさせる。
- ⑦ パネルに貼った絵をもとに、「命についてどう考えるか」という内容のお話を考えさせる。短い文を2つ～3つ考えさせる。
- ⑧ 教師は各グループを回りながら支援を行う。（10分程度）
- ⑨ 各グループ（メンバー4～5人）に、会場（教室）の3カ所でパネルシアターを始めさせる。
- ⑩ パネルシアターを行って、感じたことをワークシートに書いて、話し合わせる。

<ふり返りの留意点と発問例>

- このアクティビティーを行うことで、今の自分は小さい頃どんな様子だったのか、成長する過程でどんな出来事があったのか、感じたこと・気づいたことをワークシートに書くようにする。

発問例

今日の活動をして感じたことや気づいたことは何ですか。

- これからの生活においても自分の生命を大切にすることが、輝いている自分を築いていくことにつながることに気づくようにする。

発問例

自分の生命を大切にすることは、どんなことにつながるでしょう。

活動2 写真を読む

- ① 写真を貼り、児童にじっくりと見られるよう時間を確保する。
- ② 写真に写っているものから受けた感じを率直に話し合わせる。
(イメージさせる。音、空気、味等、五感を働かせる。)
- ③ 写真の奥に見えるもの(背景)を読み取るようにする。
「どんな世界」「どんな生活」「どんな会話」等
- ④ 自分が写真の人と同じことになったらなど、自分におきかえることで、他者の痛みを感じ取れるようにする。

<ふり返りの留意点と発問例>

- 今日のアクティビティー(写真からその背景を読み取る)を行ってみて、感じたことを発表できるようにする。

発問例

もし自分がこの少年(あるいは動物たち)の立場になったらどう感じるでしょう。

発問例

あなたならどんなことを考えますか。

アクティビティーを指導するポイント

- ◇ グループにおける話し合いを活発にさせるため、個人の段階で連想カードの仕上がり具合を見届け、できた段階でグループ構成をはじめないようにする。
- ◇ 道徳の内容項目3-(2)「生命尊重」の3時間として扱い、前2時間にアクティビティーを取り入れた活動を計画して年間計画に位置づける。
- ◇ 読み物資料を扱った道徳の時間と関連させて実施することも可能である。

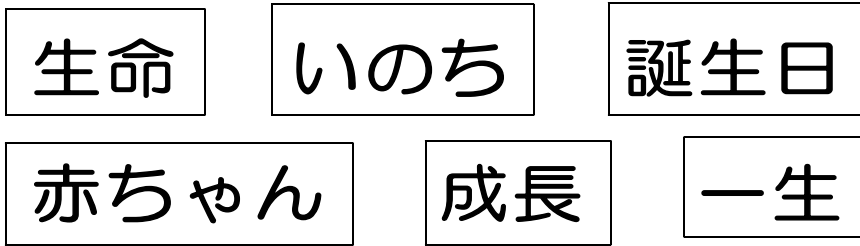
<p>1</p>	<p>1 今日の活動を知る。</p>	<p>○前半に写真を見てもらい、後半に道德の読み物資料を使って進める二時間授業とすることを伝える。</p>
<p>「写真を読む」を行い、他者の生命や生きていることのありがたさについて考えよう！</p>		
	<p>2 写真をじっくりと見せ、写真から読み取れることを発表させる。</p> <p>3 自分が写真の人の立場だったらどう思うかを考えさせる。</p>	<p>○写真に写っているものやまわりに見える景色などを読み取るようにする。</p> <p>○次に、写真に写ってはいないが、こんなことが感じ取れるという点について挙げるようにする。</p> <p>○もし自分が写真の子どもだったらを想定し、他者の心の痛みに迫れるようにする。</p>
	<p>1 命はどこからきたのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さん ・お父さん ・ご先祖様 	<p>○自分は、命は、どこから生まれてきたのかを落ち着いて考えさせ、自由に発表させる。</p>
<p>資料「いのちのまつり」を読んで、生命の大切さを考えよう！</p>		
<p>1</p>	<p>2 資料について知る。</p> <p>3 資料「いのちのまつり」を読む。</p> <p>4 感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなにも多くの人から自分が生まれたなんて気づかなかった。 ・親からもらった命を大切にしたい。 <p>5 保護者からの手紙を配り、自分であけて読む。</p>	<p>○絵本なので、全員が見えるように注意を払って、読み聞かせる。</p> <p>○安心して自由に発言できる雰囲気をつくる。人に意見には耳を傾け、自分の意見も発表できるように指示する。</p> <p>○事前に保護者に呼びかけ、子ども宛の手紙を書いてもらう。出産の時の様子や大けがをしたときのことなど、子どもへの愛情いっぱいの手紙を読んで終わる。</p> <p>○家庭環境に気を配り、配慮をする。</p>

参考文献：「いのちのまつり」（作：草場一壽 絵：平安座資尚）サンマーク出版

※ この資料の他に、生命尊重に関する読み物資料を活用することも可能である。

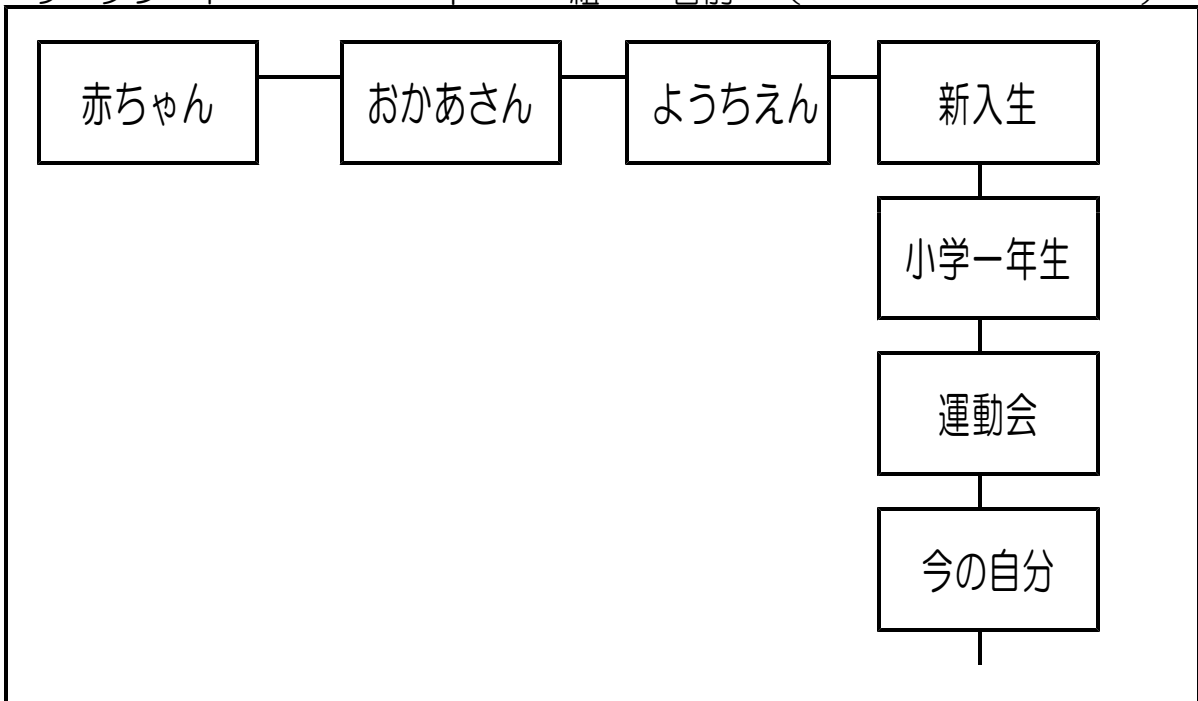
Ⅲ 資料

(1) 「人権パネルシアター」で使うキーワードカード

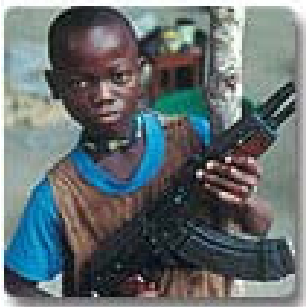


(2) キーワードから連想する時に使うワークシート

ワークシート 年 組 名前 ()



(3) 「写真を読む」で使う写真



【銃を持つ子ども】

出典：日本ユニセフ協会ホームページより



【絶滅のおそれのある地域個体群：ツキノワグマ】

出典：雲取山荘提供